



基準 3 : 当てはまる 2 : やや当てはまる 1 : 当てはまらない

【評価結果と今後の課題】

I. 教育理念・教育目的・教育目標

・教育理念・教育目的は、学生にとって学習の指針になるように具体的に示している。教育理念・教育目的・教育目標は、看護の専門職に求められる専門性・自律性・倫理性・判断力・実践力についての考え方を示し、学生が卒業時点において持つべき資質をデュプロマポリシーで示している。

II. 教育課程経営

- ・講師会議を行うなど、外部講師を含めた教職員全体は、教育理念・教育目的・教育目標の達成に向けて一貫した活動を行っている。
- ・評価結果の活用における倫理規定については検討が必要である。
- ・教員の業務役割や担当科目変更による授業準備時間の確保が課題である。

III. 教授・学習・評価過程

- ・教員会議、実習指導者会議、実習調整会議などで学生の目標達成状況を把握している。
- ・電子教科書の導入にともない、学生の学習が深化、発展できるよう学習を支援している。
- ・学生からの授業評価、教員の自己評価・他者評価を実施している。外部講師の授業評価について検討が必要である。

IV. 経営・管理過程

- ・学習環境について更新、修繕が必要なため整備計画を策定していく。

V. 入学

- ・教育理念・教育目的との一貫性をもって入学者選抜をするためアドミッションポリシーを示している。

VI. 卒業・就職・進学

- ・卒業生の活動状況および看護実践力などについて、継続的な調査ができていない。同窓会と連携しながら調査を行っていく。

VII. 地域社会/国際交流

- ・留学生の受け入れについて、教員の配置や体制ができていない。

VIII. 研究

- ・教員の研究活動を保障（時間的、財政的、環境的）しているが、発表件数が低迷している。教員相互で支援し研究活動に取り組む。